

アロカ プロサウンドαシリーズの
新しい超音波診断装置「プロサウンドα6」を発表
(2009/8/28)

アロカ(株)は、次世代コンパクトカラー超音波診断装置の新製品、プロサウンドα6を発表した。プロサウンドα6は、様々な超音波検査シーンにおいて優れた性能を発揮し、なおかつアップグレードが可能で使いやすい汎用超音波診断装置で2009年10月から出荷開始予定。

高性能な上位機種のプロサウンドα10およびα7の定評あるテクノロジーをベースに開発されたプロサウンドα6は、一台で様々な診断用途に活用できる。数多くの用途別探触子とソフトウェアオプションも同時に発売され、検査室、循環器科、産婦人科、内科などの専門診断分野に対応できる。プロサウンドα6の高性能プロセッサーは、画質やカラードプラの感度に妥協することなく、上位機種で採用されている多彩な画像描出モードを提供する。

プロサウンドα6は、使いやすいデザインも特徴の一つ。大型のタッチパネルはメニューを自由にアレンジでき、頻繁に使用する機能にすばやくアクセスできる。

アロカの汎用カラー超音波診断装置の中で最も軽量・コンパクトで移動性が良く、少ない消費電力で環境にも配慮した設計である。

プロサウンドα6は、8月30日から9月3日までオーストラリアのシドニーで開催された、世界超音波医学学術連合大会(WFUMB)で展示された。また8月29日から9月1日までスペインのバルセロナで開かれた欧州心臓学会(ESC)、続いて、9月13日から17日のドイツ、ハンブルクでの国際産婦人科超音波学会(ISUOG)でも公開された。



アロカ
(プロサウンドα6)